

第3回：読解・下ごしらえ編

「イイところ取りの丸写しじゃダメだったのか!？」の巻 ー文献の裏づけ付きの最終アウトラインを作ってからー

MELIC2階 情報学習室

講師：総合教育センター 仁上幸治（にかみ・こうじ）

【1】前回までのポイント

1. レポート作成には10のステップがある。
2. テーマの選択には失敗しないコツがある。
3. 執筆の前に辞書・辞典・百科事典などで簡単な事前調査をする。
4. 仮アウトラインを書いておけば論旨がブレない。

【2】今日のポイント

1. ウェブからコピーで一丁あがりと思っはだめ。
2. 図書だけでなく雑誌論文・新聞記事・視聴覚資料などの関連文献を広く調べる。
3. 文献調査にはデータベースが便利。
4. オリジナルなデータを集めるにはアンケートとインタビューで。
5. 文献の裏づけ付きの最終アウトラインを作ろう。
6. 文献を読解し、引用箇所を決め、論理的に並べなおす。
7. 執筆の前に、材料をそろえて下ごしらえしておく。

・引用個所と出典

・引用・参考文献リスト

【3】今日の教材

1)ライブラリービデオシリーズ『情報の達人』全3巻(DVD版) 監修:仁上幸治・野末俊比古, 紀伊國屋書店、2007.「第3巻 レポート・論文を書こう!: 誰にでも書ける10のステップ」

第1講 レポート・論文の作成手順

第4講 関連文献の調査

第8講 文献の読解と執筆

2)仁上幸治「第5章 情報収集」, 大学導入教育研究会編『よくわかるライフデザイン入門ー大学生のための必須学習術ー』第2版, 古今書院, 2011.3, pp.35-46.

【4】ビデオ教材内容一覧

LIBRARY VIDEO SERIES 情報の達人 DVD 全3巻/総合監修:社団法人日本図書館協会/監修:仁上幸治(早稲田大学)・野末俊比古(青山学院大学)/制作協力:株式会社モニタージュ/製作:株式会社ポルケ/企画・発行:株式会社紀伊國屋書店/全3巻セット:特価¥105,000(税込)、各巻価格 ¥36,750(税込)/合計ビデオ 227分、スライド 436枚、テキスト 132ページ 紀伊國屋書店『情報の達人』ホームページ (<http://www.kinokuniya.co.jp>)

■第1巻 図書館へ行こう！： インターネット時代の
情報活用入門

- 第0講 総論 図書館へ行こう！
- 第1講 大学で学ぶということ
- 第2講 情報リテラシーは学習の基盤
- 第3講 問題解決のための情報活用
- 第4講 さまざまなメディアと情報源
- 第5講 情報の整理・分析と加工・発信
- 第6講 図書館のコレクション
- 第7講 図書館で資料・情報を探す
- 第8講 図書館サービスのいろいろ
- 第9講 図書館は世界に広がる窓
- 第10講 「情報の達人」をめざして

■第2巻 ゼミ発表をしよう！： テーマ選びからプレ
ゼンテーションまで

- 第0講 総論 ゼミ発表をしよう！
- 第1講 情報リテラシーの意義
- 第2講 情報を探し出す仕組み
- 第3講 データベース検索の手順と手法
- 第4講 データベースを使いこなす

- 第5講 資料の保管と分類
- 第6講 資料の評価と情報の分析
- 第7講 プレゼンテーションの準備
- 第8講 プレゼンテーションに臨む
- 第9講 著作権を守る
- 第10講 セキュリティを高める

■第3巻 レポート・論文を書こう！： 誰にでも書け
る10のステップ

- 第0講 総論 レポート・論文を書こう！
- 第1講 レポート・論文の作成手順
- 第2講 テーマの選択
- 第3講 事前調査と仮アウトライン
- 第4講 関連文献の調査
- 第5講 データベースの検索
- 第6講 視聴覚・電子メディアの調査
- 第7講 アンケートとインタビュー
- 第8講 文献の読解と執筆
- 第9講 出典の表示
- 第10講 仕上げ

【5】 今日の内容詳細

=====
第1講 レポート・論文の作成手順

レポート・論文作成の10のステップ
ステップ1 テーマの選択
ステップ2 事前調査
ステップ3 仮アウトラインの作成
ステップ4 関連文献の調査
ステップ5 文献の入手
ステップ6 文献の読解と整理
ステップ7 最終アウトラインの作成
ステップ8 執筆・校正
ステップ9 出典の表示
ステップ10 仕上げ

第2講 テーマの選択
第3講 事前調査と仮アウトライン

=====
第4講 関連文献の調査 ステップ4～5 その1

●スライド1/13
情報の達人 第3巻 レポート・論文を書こう！
第4講
関連文献の調査 ステップ4～5 その1

●スライド2/13
第4講の内容
文献調査の手順と特徴
(1)文献の種類と特徴
(2)文献調査の手順
(3)主題調査の方法

●スライド3/13
(1)文献の種類と特徴

●スライド4/13
さまざまな文献
・図書
・雑誌記事…ジャーナル、マガジンなど
・新聞記事…一般紙、専門紙など
・レファレンス資料…年鑑、統計、白書など
・非売品…報告書、紀要など

●スライド5/13
電子化された文献
・電子書籍
・電子ジャーナル
・その他

●スライド6/13
(2)文献調査の手順

●スライド7/13
文献調査をするには
・図書館
・インターネット
・その他

●スライド8/13
手順1 主題調査
・テーマ(主題)に関する文献を幅広く
・文献の一覧リストを作成

●スライド9/13
手順2 所在調査
・文献がどこで入手できるか

- ・まずは自分の図書館にあるか
- ・なければ他の図書館を探す

●スライド 10/13
(3)主題調査の方法

- スライド 11/13
主題調査をするには
- ・二次資料(データベース)などを利用
 - ・日本で出版された図書は NDL-OPAC(一般資料の検索)などで
 - ・雑誌記事は NDL-OPAC(雑誌記事索引の検索)などで

- スライド 12/13
二次資料(資料を探すための資料)の種類
- ・目録…図書館の所蔵資料などの一覧
 - ・書誌…テーマや人物などに関する資料の一覧
 - ・索引…雑誌や新聞の記事などの一覧

- スライド 13/13
第4講のまとめ
まずは主題調査から

- ★今回は省略
第5講 データベースの検索
第6講 視聴覚・電子メディアの調査
第7講 アンケートとインタビュー

=====
第8講 文献の読解と執筆 ステップ 6~8

- スライド 1/13
情報の達人 第3巻 レポート・論文を書こう!
第8講
文献の読解と執筆 ステップ 6~8

- スライド 2/13
第8講の内容
文献の読解から執筆まで
(1)文献の読解と整理
(2)最終アウトラインの作成
(3)執筆・校正

- スライド 3/13
(1)文献の読解と整理

- スライド 4/13
文献を読解するポイント
- 1 文献が書かれた目的は?
 - 2 扱っている対象は?
 - 3 データ・文献は適切か? 情報源は確かか?
 - 4 データ・文献の分析の仕方は適切か?
 - 5 事実と意見が区別されているか?

- スライド 5/13
文献を読解するポイント(つづき)
- 6 結論・主張は何か?
 - 7 目的と考察(分析)と結果(主張)は一貫しているか?
 - 8 どんな理論を用いているか?
 - 9 筆者はどんな点に関心を寄せているか?
 - 10 倫理的・法的な問題はないか?

- スライド 6/13
読解した内容の整理・分析
- ・情報カード
 - ・ノート
 - ・ふせん
 - ・マーカー
 - ・パソコン
など

- スライド 7/13
(2)最終アウトラインの作成

- スライド 8/13
仮アウトラインを見直して最終アウトラインを作成
- ・追加
 - ・削除
 - ・移動
 - ・修正
 - ・詳細化

- スライド 9/13
レポート・論文の構成例
- ・序論…研究の背景・動機、目的、方法
 - ・本論…調査経過・結果、分析、考察
 - ・結論…主張、課題、展望

- スライド 10/13
(3)執筆・校正

- スライド 11/13
執筆する
- ・アウトラインの各項目を文章化
 - ・文献などの内容をもとに
 - ・表現を工夫(図表など)
 - ・執筆後は校正(推敲)

- スライド 12/13
文章化のポイント
- ・文体は書き言葉(である調)
 - ・表現はわかりやすく
 - ・一般用語と専門用語を区別
 - ・同一概念は同一用語で

- スライド 13/13
第8講のまとめ
読解と執筆はていねいに

【6】時間節約のためのPC操作の基本

(1)役に立つショートカットキー

コピーしたい文字列をドラッグした状態で、次のキーを押す。

- 1)コピー: [Ctrl]+[C]
- 2)切り取り:[Ctrl]+[X]
- 3)貼り付け:[Ctrl]+[V]
- 4)元に戻す:[Ctrl]+[Z]
- 5)全部選択:[Ctrl]+[A]
- 6)ブラウザで新しいウインドウを開く: [Ctrl]+[N]

(2)使えるソフト

・メモ帳: [スタート]>[すべてのプログラム]>[アクセサリ]>

(3)タイピング

・楽しみながら速くなる! タッチタイピング練習法

<http://tuitui.jp/2010/06/c05-typing.html>

・ブラインドタッチ

http://mail2.nara-edu.ac.jp/~asait/windows/blind_touch/blind_touch.htm

・e-typing (タイピング練習の定番。要会員登録)

<http://www.e-typing.ne.jp/>

(4)論文作成

・Lycos / ディレクトリ / 資料・情報源 / 論文の書き方 <http://www.csg.is.titech.ac.jp/~chiba/writing/>

小論文の書き方・レポートの書き方 論文の書き方: <http://shouronbun.com/>

【7】役立つ文献案内

- 1)伊藤民雄『インターネットで文献探索2010』日本図書館協会、2010。
- 2)アリアドネ編『思考のためのインターネット—厳選サイト800』筑摩書房、1999.08(ちくま新書)¥660
- 3)山内志朗『ぎりぎり合格への論文マニュアル』平凡社、2001.9
- 4)澁谷恵宜『卒業論文援団 : はじめての「卒業論文」ラクラク基本マニュアル』クラブハウス、2000.7
- 5)小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』講談社、2002.4(講談社現代新書、1603)
- 6)野口悠紀雄『「超」文章法—伝えたいことをどう書くか』中央公論社、2002.10(中公新書、1662)
- 7)学習技術研究会編著『知へのステップ 改訂版 大学生からのスタディ・スキルズ』くろしお出版、2006(CD-ROM付)
- 8)佐藤望、湯川武、横山千晶、近藤明彦『アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門』慶應義塾大学出版会、2006
- 9)小原芳明監修、玉川大学コア・FYE教育センター編『大学生生活ナビ』玉川大学出版部、2006
- 10)中澤努、森貴史、本村康哲編『知のナビゲーター』くろしお出版、2007(DVD付)
- 11)松本茂、河野哲也『「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』玉川大学出版部、2007
- 12)世界思想社編集部編『大学生 学びのハンドブック』世界思想社、2008
- 14)佐藤智明、矢島彰、谷口裕亮、安保克也編『大学 学びのことはじめ—初年次セミナーワークブック』ナカニシヤ出版、2008
- 15)天野明弘、太田勲、野津隆志編『スタディ・スキル入門』有斐閣、2008
- 16)専修大学出版企画委員会編『改訂版 知のツールボックス 新入生(フレッシュマン)援助集』専修大学出版局、2009
- 17)初年次教育テキスト編集委員会編『フレッシュマンセミナーテキスト—大学新入生のための学び方ワークブック』東京電機大学出版局、2009
- 18)田中共子編『よくわかる学びの技法 第2版』ミネルヴァ書房、2009
- 19)大学導入教育研究会編『よくわかるライフデザイン入門—大学生のための必須学習術—』第2版、古今書院、2011.3,120p.¥1900

以上■ (2012.11.29作成)